

第111回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2021年7月7日（水）18:30～20:00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 16名

3 会議内容

<新規提案>

(1) 気になる本で話そう テーマ本『在宅ひとり死のススメ』（上野千鶴子／著）

【概要】

- ・本の内容を中心にしたフリートークを開催したい。本を読んでいなくても参加可能。
- ・参加者の意見から色々な考え方、感じ方があることに気づき、自分らしく生きるきっかけを作りたい。

【意見】

- ・イベントの進め方で、心掛けていることはあるか
→フリートークのイベントなので、「否定しない」・「決めつけない」ことは大切にしている。

(2) 親子で楽しむ♪ハーモニカ演奏会

【概要】

- ・昨年11月に開催したハーモニカ演奏会の第2弾を企画。ハーモニカの良さや魅力を伝えたい。
- ・前回は会場とのエール交換があまりできなかったため、今回は参加型の企画進行を考えている。
- ・子どもや、親子で楽しんでもらえる内容にしたい。

【意見】

- ・「会場の人にも体を動かしてもらいたい」とレジュメにあるが、具体的には？
→「しあわせなら手をたたこう」の曲に合わせて、その場で手や肩を叩くなどができれば。
- ・「親子で楽しむ」とあるが、「子どもと楽しむ」などにしてはどうか。
→このタイトルがまさに自分たちの想いそのものであり、できれば「親子で～」としたい。
- ・大人1人でも参加してよいのか。
→もちろんOK。おじいちゃんとの参加や、3世代での参加も大歓迎。

(3) 巨大人生ゲームを作って遊ぼう (園田学園女子大学企画)

【概要】

- ・人生ゲームのマス大きな画用紙で作り、自分がコマになって遊ぶイベントを開催したい。
- ・全体で 20 マス、うち 8 マス程度をイベントマスとする。イベントマスの内容は子どもたちにも自由に考えて作ってもらいたい。
- ・対象は小学校低学年。物を使い回すことが無いよう、さいころは蹴るなどの工夫をする。

【意見】

- ・このイベントを通して、参加した子どもたちに何を伝えたいか。
→子どもたちは、今まで通り遊ぶ機会が減っている。色々な友達と図書館で交流してほしい。
- ・サイコロは蹴る場所を決めないといけないのではないか。
→ (対応策) クッション素材にする、くじびきにする、「黄色の 1」などめくったら数字が書いてあるものを作る など、会場の参加者より提案。
- ・マス目の固定方法、道順はどうするのかなど、具体的な進行を詰める必要があるのではないか。
- ・イベントマスで、図書館の要素を盛り込むなどの工夫があれば嬉しい。

(4) 終戦時の引き揚げ者の語り

【概要】

- ・終戦時の引き揚げ体験について語ってもらい、若い人たちに戦争や、平和の尊さについて知ってもらいたい。
- ・引き揚げのルートをパワーポイントで示すなど、誰でも分かりやすい内容に工夫したい。
- ・ビデオで撮影するなどし、後生に残したい。

【意見】

- ・具体的に、どんな人に来てほしいと考えているか
→小学生ぐらいから 20 歳以下など、若い人に来てほしいが、限定はしない。
- ・親や、年配の方に連れてきてもらうのも良いのではないかな。
- ・講演者と参加者との間で、コミュニケーションがあると良いと思う
- ・子ども向けの語り方にしないと、大人向けの講演では、子どもたちにはうまく伝わらない。

(5) 鉄から物を作る仕事 第 2 弾 第 3 段

【概要】

- ・4月に「鉄工所の世界」というイベントを開催し、子どもの参加がとても多かった。
- ・子どもには少し難しい内容だった点を踏まえ、子ども向けはより子ども向けに、大人向けはより専門的な内容とし、続編を開催したい。
- ・子どもには童話風に鉄工所の世界について話したい。

【意見】

- ・ 童話風にというのは、具体的にどのような方法で伝えるのか
→ パワーポイントを使い、イラストやストーリーで伝えたいと思っている。
- ・ 工程を細かく分けてあげたらどうか。ゆっくり、考える時間がある方がよいと思う。
- ・ 身近な物を例に出したら、子どもたちはイメージが湧きやすいのでは。

(6) プラモデルを作る会 なにから始まるプラモデル

【概要】

- ・ 自分が作りたいプラモデルを製作するワークショップと、完成品の展示会を開催したい。
- ・ 1人でも作れるプラモデルだが、疑問に思ったことを仲間同士で解決したり、図書館なので本を読んで解決したりできるような機会にしたい。
- ・ 対象は4歳以上（4歳から小学2年生までは保護者同伴）。

【意見】

- ・ 製作会の途中に「作品発表」の時間があるが、どのような内容か。
→ 作品の魅力だけでなく、苦労した点や工夫した点などを発表してほしい。
- ・ 最後の方に完成した人が発表する際に、帰ってしまった参加者がいない方がよい。
- ・ 途中でも「この後どう作っていききたいか」など、みんながいる時間に発表できる工夫を。

<イベント実施報告>

(1) 親子で遊ぼう！紙芝居

親子向けのワークショップとして、オリジナル紙芝居の実演と、紙芝居作りを開催。参加者 15 名。文字を読めるかどうか分からない年齢の参加者もいたが、発表する時間を作っておいたのはよかった。発表する順番を決める時は、子どもたちが積極的に手を挙げる姿が見られた。また、どの親子も他の参加者の発表を真剣に聞いていた。時間配分が難しかったので、次回はそこも意識していきたい。

(2) 漫画を語ろう！

今回のテーマは「一番大好きな漫画」。6月20日の緊急事態宣言解除後、ことば蔵で初のイベントとなり、参加者は会場3名とオンライン参加1名だった。少女の漫画の話題などで非常に盛り上がったが、会場とオンライン併用で運営する難しさを感じた。次回は7月28日（水）18：30から、テーマは「アニメ化・ドラマ化された漫画」で開催。

※運営会議に参加できなかった企画者の、イベント実施報告については割愛しています。

4 次回の運営会議 **2021年8月4日（水）18：30～**図書館ことば蔵1階 交流フロア